

導入事例 No.002

モバイルアプリ統合開発環境

ティーディーモバイル

TD Mobile

キヤノンエスキースシステム株式会社 CRM 事業部 CRM1 部

4GLでのWin32システム開発経験を活かして、短時間でウェブアプリケーション開発を実現しました！

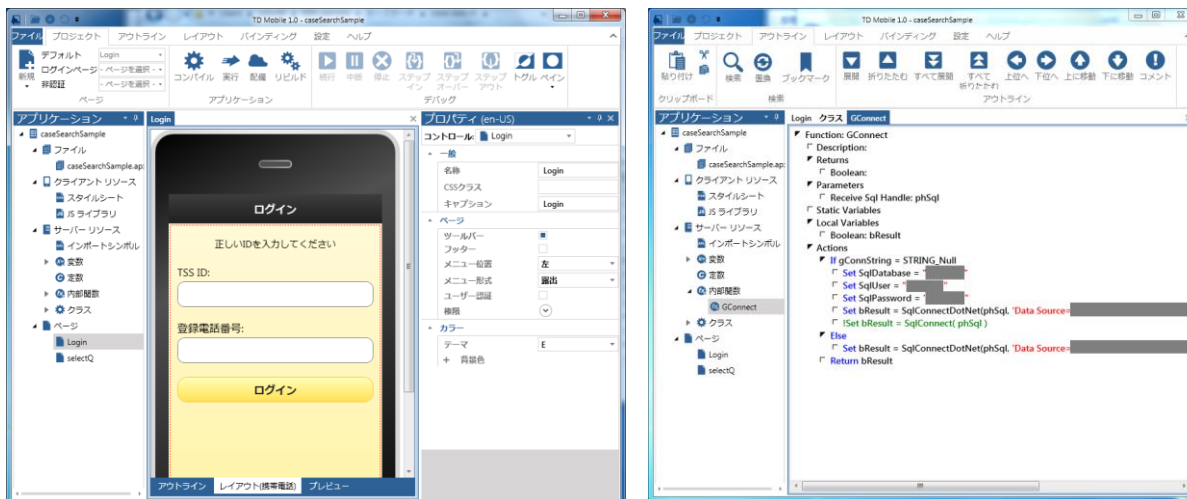
TD Mobile利用の背景・課題

キヤノンエスキースシステム社(以下、CES)は、Gupta Technologies社が提供する統合開発環境ソフトウェアであるTeam Developer (以下、TD) の日本での総代理店と日本語版の開発元です。CESでは、TD日本語版の購入者が、知りたい技術情報をサポートメールで問い合わせる前にユーザー自身で技術情報を調べられるシステム (以下、Case Search) をウェブサイト上に公開していました。このシステムは.NET frameworkで構築されていて、Case Searchを起動できるのはパソコンのウェブブラウザのみであり、対応しているバージョンにも制限がありました。また、ウェブブラウザや.NETのアップデートに伴い、Case Search管理者は自社でコントロールできない時期にシステムの更新作業を実施して多くの時間を費やしていました。CESは、システムの利用満足度向上と更新時間を短縮するため、ウェブブラウザの種類やバージョンによらないシステムを求めています。



TD Mobile利用による効果

CESでは、まず、TD Mobileのレイアウト画面上で既存システムのレイアウトの再現を試みました。TD Mobileは、4GLにより開発ができるので、ボタンやフィールドなどのコントロールをドラッグ&ドロップで配置し、html5やJavaScriptを熟知する前にプロトタイプを短期間で作成ができました。



また、TD Mobileはログインページのテンプレートが提供されていたので、データベースへアクセスするSQL文を記述するだけでログインページが完成しました。ログインページテンプレートが提供されていたので、ウェブアプリを熟知している社員がいなくても、ログインページについてセキュリティ面を検証する時間に長い時間を割かずに済みました。さらに、従来のCase Searchは、Team Developerで開発されていたのでビジネスロジックをそのまま活用できたので、ビジネスロジックを構築する時間を大幅に短縮できました。



TD Mobileによるアプリ開発のメリット

TD Mobileを用いて開発することで、ブラウザや.NETの影響調査を行う従来のCase Searchを更新する作業時間よりも、実装したい機能に特化して開発ができたので短期間で完了できました。また、TD Mobileで構築されたアプリケーションはhtmlで生成され、ウェブブラウザの種類やバージョンによらないので、顧客がどのブラウザを利用しているのか気にする必要がなくなりました。TD Mobileのアプリはモバイルデバイスの画面サイズに合わせたレイアウトを作成できるので、CESの営業担当がスマートフォンから技術情報をすばやく確認できるようになったことで、お客様から技術情報への回答時間を短縮することにも成功しました。

この事例のポイント！

html5 や JavaScript を熟知するための学習時間を割く前に、
モバイルアプリケーションを開発できたので、**開発期間を短縮**できた！

TD Mobile のアプリはブラウザのバージョンなどに影響を受けにくいので、
アプリの**更新作業時間を短縮**できた！

<GUPTA 製品情報サイトおよびお問い合わせ先>

キヤノンエスキースシステム株式会社

GUPTA 製品お問い合わせ窓口

TEL: 03-6811-0014

mail:info_gupta@canon-esys.co.jp

<http://www.guptaworldwide.jp/>

※記載された会社名および製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。